

# 『岐阜市未来教育カレッジ研修講座』企画書

指導アドバイス: 未来教育デザイナー 鈴木敏恵

プロジェクト		
<b>岐阜市未来教育カレッジ研修講座</b>		
参加者	教職員・大学生・高校生・一般	
授業・活動	未来教育プロジェクト学習実践推進事業の一環として開設する。	
期間	平成18年6月2日(金)3日(土)・8月2日(水)・8月29日(火) 平成19年1月20日(土)	
手法	4回の連続講座によりプロジェクト学習を体験する。	
身につく力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら考え、自ら学ぶ力を育てる体験学習の在り方</li> <li>・情報を見きわめる力を育てる調べ学習の在り方</li> </ul>	
ねらい&コンセプト	<p>体験学習、調べ学習、などを、やりっぱなし体験にしては子どもたちの力がつきません。総合的な学習で地域学習をするときも同様です。</p> <p>ほんとうにそれで、子どもたちに「考える力、判断する力」「情報を手に入れ、まとめ、表現する力」が身についているのか、本当に子どもが成長するための「体験学習、調べ学習」とはどうしたらいいのか。</p> <p>今回の研修では、プロジェクトベースで実際に先生方が体験しながら授業をシミュレーションする研修会を実施することにしました。</p> <p>「岐阜の町」を題材に、チームをつくり、テーマを決め、実際に柳ヶ瀬を体験し、そのチームで知恵を出し合い再構築しまとめ最終的に、教師向け「体験学習ガイドブック」を作ります。</p>	
	回	内 容
	第1回	プロジェクト学習・ポートフォリオ評価の基本的事項について学ぶ。題材「岐阜の町」を受けて、講座全体の個人のテーマ・ゴールを設定する。
	第2回	<p>テーマ:「ずっと現役でこの町で暮らし、夢を叶えたいと思える岐阜市にしよう！」</p> <p>ゴール:「よき未来の岐阜市にするための具体的提案集を作る！」</p> <p>&lt;未来教育プロジェクト学習&gt;の基本フェーズに添って進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム作り(同じ関心の人同士)</li> <li>・計画</li> <li>・情報リサーチ(現地)―「どうして?」を心に歩こう</li> <li>・その状態をもたらしている理由、しくみを発見</li> <li>・外枠の提案(プレゼン)</li> </ul>
	第3回	プレゼンテーション制作物作成
第4回	市民参加の場で公開プレゼンテーション	
参加対象	プロジェクト学習実践未経験者・実践経験者	
原則として、プロジェクト学習実践経験者・第1回講座受講者	ただし、それ以外の方でも、事前に前回講座の内容(ホームページ上に公開予定)を熟知いただければ、参加することができます。	
成果	子どもたちが「考える力、判断する力」「情報を手に入れ、まとめ、表現する力」を身につけるにはどうしたらよいか、本当に子どもが成長するための「体験学習、調べ学習」とはどうしたらいいのかつかめます。	
社会的意義	OECDは「クロス・カリキュラム・コンピタンス、すなわち問題解決、批判的思考、コミュニケーション能力、忍耐、自信といった教科を横断した能力が大事だ」と考え、その能力を測るための研究をし、PISAを実施した。今回の研修は、このOECDがいうところの「問題解決、批判的思考、コミュニケーション能力、忍耐、自信」を培う体験学習、調べ学習のあり方を学ぶ機会として位置づける。	
実施体制	岐阜市内を中心とした教職員を対象とする。終日をかけて、準備・テーマゴール・情報リサーチ・制作・プレゼンテーションというプロジェクト学習の学習過程を体験する。情報リサーチの場面では、実際に柳ヶ瀬を舞台にインタビュー、観察等、を行う。そして、最後に、「こうすれば、子どもに考える力や気づく力が身につく、体験となるのです」というプレゼンテーションを行う。岐阜市教育委員会教育研究所：丹羽美彦、華陽小：歳藤幸広、梅林中：岸 正法	

## 岐阜市未来教育カレッジ研修講座シラバス

岐阜市教育委員会

【対象】 教職員・高校生・大学生・一般

【講師】 鈴木敏恵・市教委指導主事・先進校実践者

【目的】

年間4回の講座を受講することによって、以下の4点を身につけることを目的とする。

- ・気づく力（課題発見力・イメージする力）が身につく『体験学習』のあり方
- ・自ら意欲的に情報を手に入れその背景や関連性を考える力
- ・知の再構築力（言葉、ビジュアル、根拠などで自分の考えを組み立て表現する力）
- ・コンピテンシー（現実と対座しそこで知識やスキルを活用できる能力）

なお、希望者が継続的に受講できない場合に対応できるよう、終了した講座の情報をネット上に公開し、途中からでも参加できる体制をとる。

【研修計画】

◆実施する「プロジェクト学習の核コンテンツ」

○題 材：「岐阜の町・（安全・健康・躍動）」

○テーマ：「ずっと現役でこの町で暮らし、夢を叶えたいと思える岐阜市にしよう！」

○ゴール：「よき未来の岐阜市にするための具体的提案集を作る！」

No.	日時及び場所	対象者	申し込み先	内 容
1	6月2日（金） 14:00～17:00 華陽小学校	教職員	教育研究所 宛	◆スタート講座 <b>準備</b> ◎「プロジェクト学習」と「ポートフォリオ評価」の二つの手法について説明 ◎カレッジ学生・・・各自/テーマ・ゴール設定
	6月3日（土） 9:00～12:00 中央青少年会館	市民	中央青少年 会館宛	
2	8月2日（水） 9:00～17:00 京町小学校	教職員	夏季研修講 座として申 し込む	◆ 体験講座 <b>情報リサーチ</b> ※夏季研修講座を兼ねる ◎ <未来教育プロジェクト学習>の基本フェーズに添って進める ・チーム作り（同じ関心の人同士） ・計画 ・情報リサーチ（現地）―「どうして？」を心に歩こう ・その状態をもたらしている理由、しくみを発見 ・外枠の提案（プレゼン）
		市民	中央青少年 会館宛	
3	8月29日（火） 13:00～17:00 中央青少年会館	教職員	教育研究所 宛	◆ 制作講座 <b>制作</b> ◎プレゼンテーション制作物作成
		市民	中央青少年 会館宛	
4	1月20日（土） 10:00～13:00 長良川国際会議場	教職員 市民	教育研究所 宛	◆ 公開講座 <b>プレゼンテーション</b> ◎市民参加の場で公開プレゼンテーション ・具体的、具現化の提案（プレゼン） ・公開プレゼン（ステージ上） ・パネルプレゼン（フロア）
5	3月	受講者	教育研究所 宛	◆「凝縮ポートフォリオ」作成 市長等へ提言・ウェブ上への公開「知の成果ギャラリー」

# < 岐阜市未来教育カレッジ研修講座 > 実施イメージ図

## 題材

岐阜の町(安全・健康・躍動)

## 目的

年間4回の講座を受講することによって、以下の力を身につける。

- ・気づく力が身につく体験学習のあり方
- ・自ら意欲的に情報を手に入れその背景や関連性を考える力
- ・知の再構築力(言葉、ビジュアル、根拠などで自分の考えを組み立て表現する力)
- ・コンピテンシー(現実と対座しそこで知識やスキルを活用できる能力)

## テーマ

ずっと現役でこの町で暮らし、夢を叶えたいと思える岐阜市にしよう！

～安全・健康・躍動～

# プロジェクト&ポートフォリオ

成長・意志

## ゴール

よき未来の岐阜市にするための  
具体的提案集を作る！

安全・健康・躍動

第4回  
1月20日  
公開講座  
市民参加の場  
(教育公表会)  
で  
公開プレゼン  
テーション

第3回  
8月29日  
制作講座  
プレゼンテー  
ション制作物の  
作成

成長し続ける人  
起業家マインドの育成

一般市民による共同のプロジェクト

教職員 高校生 大学生

第2回  
8月2日  
体験講座  
柳ヶ瀬を舞台に、  
情報リサーチ

地域社会を構築する  
人材育成・自立

第1回  
6月2日・3日  
スタート講座  
プロジェクト学  
習とポートフォ  
リオ